

災害時母子避難救護研修

災害時の避難において妊産婦や乳幼児は災害弱者ですが、優先や配慮がなされていないことは熊本地震でも明らかとなりました。当地域においても、災害時に地域として地域の宝である母子を安全にサポートすることが求められますが、その対策についてはまだ未整備であります。災害時に母子救護の方策について、最先端の知見を共有するとともに、平時から地域連携ネットワークを構築するための方法について、関係者が専門家の意見を聞きながら演習等を通じて学び、母子についての問題を地域として認識し、計画策定に反映できればと考え当研修を企画しました。

開催日時:平成 28 年 11 月 13 日(日曜日) 8 時 30 分より受付
9 時 00 分開始 16 時 30 分終了予定

場 所:亀田総合病院 K 棟 13 階 ホライゾンホール

費 用: ¥2000 (予定)

募集人数: 60 名

内容:

- 1) 災害時の母子保健活動について
- 2) 小児周産期医療を継続するために
- 3) 避難所運営に妊婦、乳幼児の特殊性について
- 4) 避難所運営ゲーム(HUG)

など災害時における妊婦、乳幼児の健康、疾患に関わることを広く学び、災害時においてより良い母子保健医療を提供するための知識、技能、態度を身につけることを目的としております。

参考資料

- 1) 災害時に妊産婦・乳幼児を守るためのツール <http://honami-yoshida.jimdo.com/災害時に次世代を守るためのツール/>
- 2) 受援力ノススメ https://ndrecovery.niph.go.jp/quartett/ask_help.pdf
- 3) 妊産婦向け防災ブックレット「ママと 赤ちゃんの防災ノート」 <https://cloud.niph.go.jp/s/fd/kg6X0Qc6Ey2ciLETz7Hy>
- 4) 妊産婦向け避難所運営ゲーム(HUG) <https://cloud.niph.go.jp/fileshare/download?file=XhpKkHX6vS3sniwm1TNM>
- 5) 東京都妊産婦災害時対応ガイドライン http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kodomo/shussan/nyuyoji/saitai_guideline.files/guideline.pdf

